

飲み込み型センサ用ハードウェアプラットフォームの応用調査研究

Application research of hardware platform for ingestible sensor

調査研究代表：東北大学 工学研究科

特任准教授 吉田 慎哉

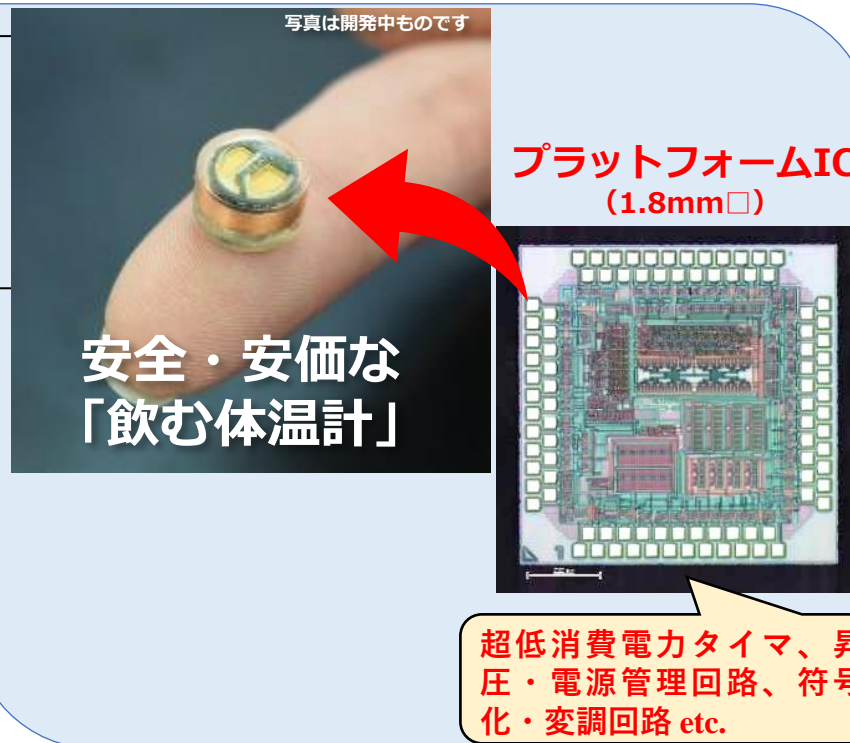
- ・ 飲み込み型体温計やその他センサの健康医療や薬学等へのニーズ調査を行う。
- ・ 上記ハードウェアプラットフォームの応用展開に必要な要素技術の調査を行う。
- ・ プロトタイプ試作や動物実験等の実施も検討する。

東北大学

飲み込みセンサハードウェアプラットフォームの開発とニーズ調査

筑波大学

システム評価および医療動物実験



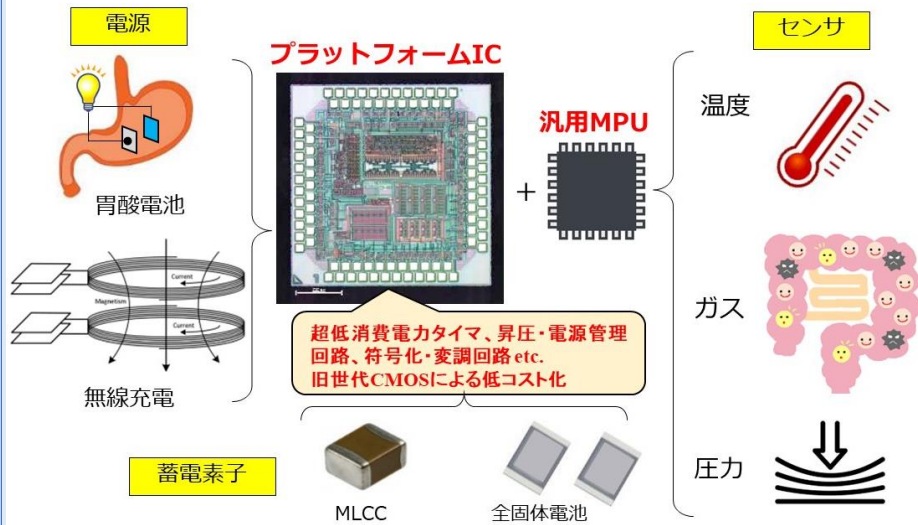
AIST

位置センシングおよびサンプリング技術の開発

株式会社 FUJI

飲み込みセンサの実装技術の開発

飲み込み型(or 埋込型)センサ用ハードウェアプラットフォーム



様々なセンサや電源を搭載可能
ニーズに合わせてカスタマイズ

様々な飲み込み or 埋込み
生体デバイスへ展開

【年間活動計画】

- 6 - 9月 ニーズの調査
- 9 - 12月 要素技術の洗い出し
- 12 - 3月 動物実験等の検討
(特に安全性の確保を重視)

- 飲み込み体温計の安全確保と健康管理やペットモニタリング、畜産等への応用調査。その他のデバイスへの展開
- 医工農学の学際領域に精通した人材の育成。